

第二部「エコ講座」

地球環境を脅かす

プラスチックごみを減らそう

くにびきエコクラブ

2020/11/13 出雲西高等学校

「プラスチックごみを減らそう」P-1～17：担当 本田 冷子

P- 3：動画（アナウンス不要）

P- 5：AI音声入力済み

P-10：AI音声入力済み

「エコイズ」P-18～31：担当 須山 知幸

P-24：AI音声入力済み

P-25：動画（アナウンス不要）

P-30：動画（アナウンス不要）

PC担当：大草 度三

※所要時間：18分



地球環境を脅かす

プラスチックごみを減らそう

海にはプラスチックごみがいっぱい

世界中で大量のプラスチックごみが海に流出しています。北太平洋には、海流で運ばれたプラスチックごみが集まる海域（太平洋ごみベルト）があり、その広さは日本の国土面積の約4倍。地球環境に様々な影響を及ぼす海洋プラスチック問題は深刻です。

海洋生物を危機に

海鳥や海亀、鯨などがプラスチックをエサと間違えて食べる、体に絡まるなどして、その生存環境が危機にさらされています。

人の健康にも影響

海中のプラスチックはやがて微細な破片（マイクロプラスチック）となり、魚などの体内に取り込まれます。食物連鎖の過程でプラスチックの有害物質が濃縮され、最終的には人間の健康被害につながる恐れがあります。...

地球温暖化を加速

太陽光や水にさらされているプラスチックからは温室効果ガスのメタンが発生します。また、焼却されるときには大量の二酸化炭素が放出されます。

くまびきエコクラブ 松江市東原町 1741-3 いきいきプラザ敷地内
このチラシは、「全労連地域貢献助成事業」に関わる助成金を受けて作成しています。

増え続ける海洋プラスチックごみ

大量生産でき、軽くて丈夫なプラスチックは、あらゆる場面で便利に使われ、増加の一途をたどってきました。しかし一方で多くは使い捨てられ、それらは最終的に海へと行き着きます。すでに世界の海にはプラスチックごみが1億5千万トン存在し、そこへ新たに年間8百万トン（ジャンボジェット機5万機の重量）が流入すると考えられています。このままだと、2050年には海洋プラスチックごみは海の魚の量を上回ると予測されています。



2050年には魚の量を上回る

資源循環、プラごみ排出ゼロ社会へ

海洋プラスチック問題は、世界や国、自治体等の対応方針のもと、事業者（提供する側）、消費者（使う側）の双方が責任を分かち合い、それぞれの立場でできることを緊急に実行することが重要です。

通称サービスの見直し

- レジ袋の無料配布をしない
- 過剰包装をしない（二重包装、備包装・容器、宅配過剰包装・梱包など）
- 提供方法の改善
- 量り売りの導入・拡大（自動化の量り売りも登場）
- 代替素材へ変更
- 容器包装素材を植物由来など生分解性のものへ
- 商店などで紙袋の採用
- リサイクル素材の利用
- 現場で発生する廃プラを資材原料に循環利用
- 革新的技術の開発
- プラスチックリサイクルなどの画期的な技術開発



事業者（企業・商店）
消費者（市民）
研究機関
政府・自治体

市民・事業者と連携
<政府・自治体>
■ プラスチックごみに関する国家戦略や規制など枠組み策定
<研究機関>
■ 研究技術開発で企業と連携
<NGO>
■ 海岸漂着ごみの一斉清掃など市民に呼びかけて協働

使い捨てプラの削減

- レジ袋をもらわない（マイバッグを持参）
- 使い捨てフォークやストローの使用を控える
- 水筒携帯などによりペットボトル飲料の利用を控える
- 過剰包装は断る
- 量り売りや詰め替え商品を利用する
- 修理して繰り返し使う
- 中古市などに出す
- 分別・資源回収を徹底

廃プラの発生防止

- ボイ捨て、不法投棄をしない
- 海岸漂着ごみの一斉清掃など市民に呼びかけて協働
- 海岸や街の清掃活動

皆様、お手元に この「プラスチックごみを減らそう」と記載しているチラシをお持ちでしょうか！（チラシを手にとって上にかざす）

このチラシは、昨年度の環境出前劇「海亀の涙」の上演にあわせて、エコクラブで作成したオリジナルチラシです。

はじめに、表面の「プラスチックごみの現状」と裏面の「増え続けるプラスチックごみ」について、説明します。

まず、次の映像をご覧ください。

2

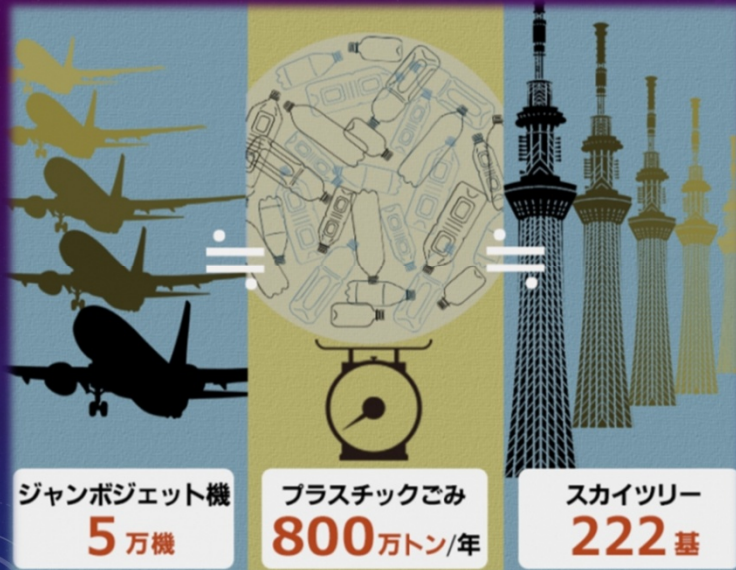
ポイ捨てごみはどこへ行く？ ～海を漂うプラスチック～

映像提供：City of Yokohama

*アナウンス不要

「ポイ捨てごみはどこへ行く？～海を漂うプラスチック～」
映像提供：City of Yokohama 2分23秒

増え続ける海洋プラスチックごみ



太陽光や水にさらされた
プラスチックごみ

メタンが発生

温暖化を加速

資料: 日本財団 (海洋プラスチックごみ、その厳しい汚染の現実)

既に世界の海に存在しているといわれるプラスチックごみは、合計で1億5000万トン。そこに少なくとも年間800万トンものプラスチックごみが新たに増えていると推定されています。

海に流れ込んだプラスチックごみは、太陽光や水にさらされ、温室効果ガスのメタンが発生し、地球温暖化を加速させています。

資源循環、プラスチック排出ゼロ社会へ



12 つくる責任
つかう責任



SDGs

資料提供: NHK



次に、チラシ裏面の「資源循環、プラスチック排出ゼロ社会へ」についてお話しします。近年、経済発展と豊かさを追求した国造りは、大量生産・大量消費・使い捨てを生み、地球本来の循環型社会を崩壊させるとともに、化石燃料の乱用によるCO2の大量放出により、地球温暖化を招き、異常気象・海面上昇・干ばつ・熱中症患者の増大を招きました。

このような状況を少しでも改善するためには、資源を生産・消費し廃棄する一方通行の「使い捨て経済」を、生産したものをリサイクルやリユースするなど再資源化し何度でも利用する「循環型経済」に変えていかなければなりません。

国連が定めたSDGs (エス ディー ジーズ) 「持続可能な開発目標」にも「循環型経済」の重要性が掲げられ注目が集まっています。



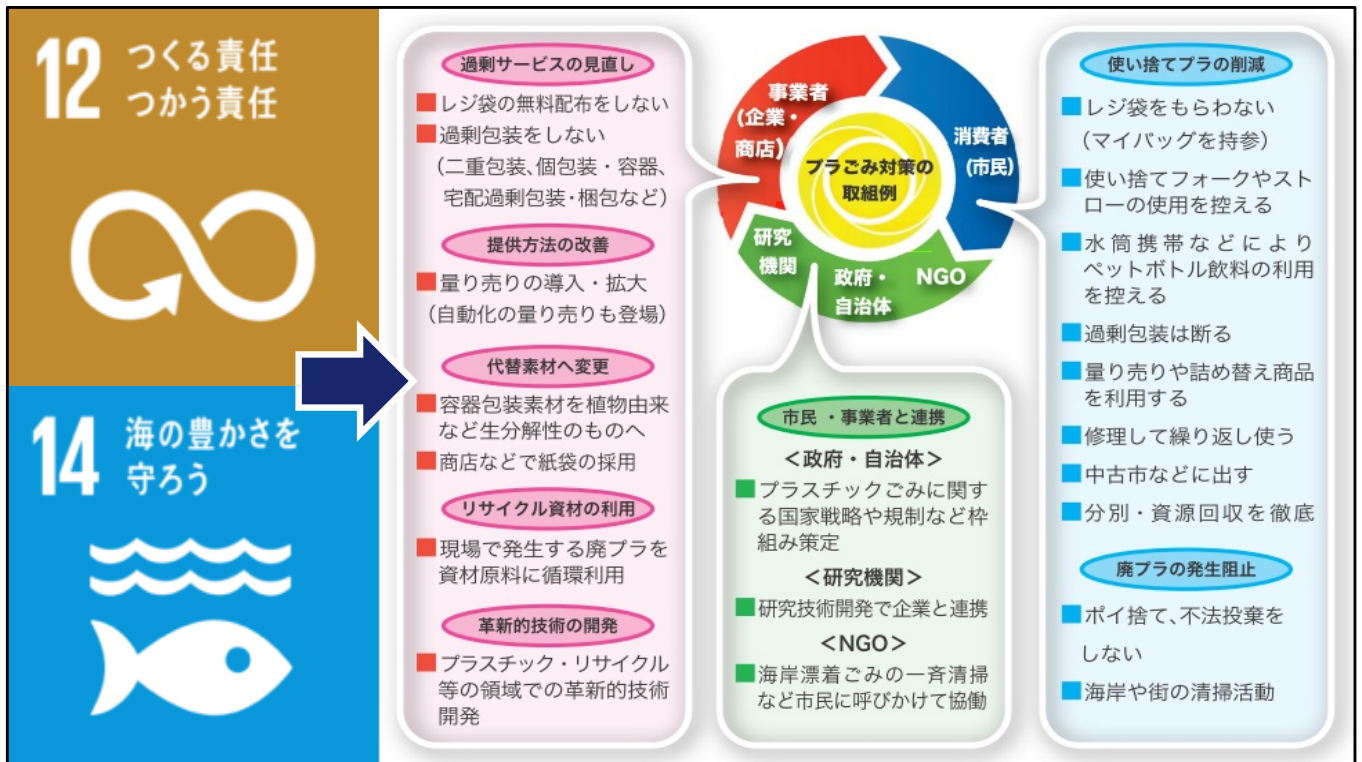
SDGs(持続可能な開発目標)

2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする**17の国際目標**(その下に、169のターゲット、232の指標が決められている)。特徴は、以下の5つ。

(1)貧困 1 貧困をなくそう 	(2)飢餓 2 飢餓をゼロに 	(3)保健 3 すべての人に健康と福祉を 	(4)教育 4 質の高い教育をみんなに 	(5)ジェンダー 5 ジェンダー平等を實現しよう 	(6)水・衛生 6 安全な水とトイレを世界中に 	普遍性 先進国を含め、 全ての国が行動
(7)エネルギー 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	(8)成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 	(9)イノベーション 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	(10)不平等 10 人や国の不平等をなくそう 	(11)都市 11 住み続けられるまちづくりを 	(12)生産・消費 12 つくる責任 つかう責任 	包摂性 人間の安全保障の理念を反映し「 誰一人取り残さない 」
(13)気候変動 13 気候変動に具体的な対策を 	(14)海洋資源 14 海の豊かさを守ろう 	(15)陸上資源 15 陸の豊かさも守ろう 	(16)平和 16 平和と公正をすべての人に 	(17)実施手段 17 パートナースHIPで目標を達成しよう 	(Sustainable Development Goals logo)	参画型 全てのステークホルダーが役割を
統合性 社会・経済・環境に 統合的に取り組む						
透明性 定期的にフォローアップ						

資料:「持続可能な開発目標」(SDGs)について 平成31年1月 外務省

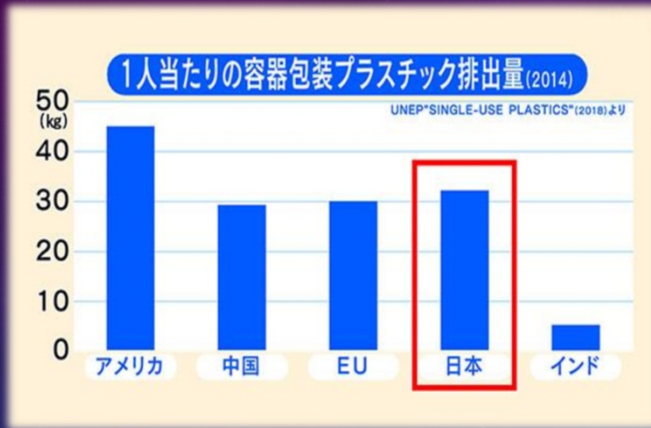
SDGs(エス ディー ジーズ)とは、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された「誰一人取り残さない」持続可能で多様性のある社会の実現のため、2030年を年限とする 17の国際目標です。



「プラごみ排出ゼロ社会へ」を、国連で採択された「持続可能な開発目標」に当てはめると「(12) つくる責任・つかう責任」「(14) 海の豊かさを守ろう」に当たります。

海洋プラスチック問題は、世界や国、自治体 が協力し、事業者 (つくる側)、消費者 (つかう側) 双方が責任を分かち合い、それぞれの立場でできることを緊急に実行することが重要です。

日本は一人当たりの**プラスチック発生量**は、**世界ワースト2位**
32Kg/年間一人当たり



1位 アメリカ 45Kg

2位 日本 32Kg

3位 EU 30Kg

資料:「UNEP SINGLE-USE PLASTICS2018」より
Plastic packaging waste generation, 2014 (million Mt)

世界中で起きている「海洋プラスチック」の問題。日本は一人当たりのプラスチックの発生量は年間32Kgで、アメリカに次いで世界で2番目に多い国です。

日本は一人当たりの**プラごみ発生量**は、**世界ワースト2位**
32Kg/年間一人当たり

30 プラごみ袋
(約1.2Kg/1枚)



一人当たり
約**25**袋/年間
(約**2**袋/月)



日本の一人当たりのプラごみの発生量の年間32Kgは、例えば30リットルプラごみ袋に換算すると、年間で25袋、月当たり2袋出している計算になります。

皆さんのお宅ではいかがでしょうか。

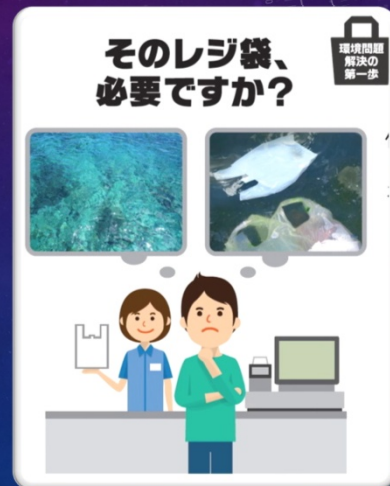
せい かいものぶくろ ゆうりょうか
プラスチック製買物袋が有料化になりました

2020年7月1日より
レジ袋が有料化されました



(ただし植物由来で環境負荷の小さいものや、厚さ 0.05 ミリ以上のものは有料義務化の対象外)

(F&E 環境対策推進部 環境対策課 電話 002-5117-0000 東京都環境局 環境対策課)



今年の7月1日から全国的にプラスチック製買物袋（レジ袋）の有料化がスタートしました。

これは、全ての小売業者に適用され、今まで無償でレジ袋を提供していた、コンビニ・百元ショップやホームセンターなどにも適用されます。

何気なくもらっているレジ袋。有料化を通じて、そのレジ袋が本当に必要かを考えてもらい、マイバッグの持参の習慣化して、過剰なレジ袋使用をやめましょう。

私たちが、今日から取り組める ごみ減量作戦 (使い捨てプラの削減・廃プラの発生阻止)

ごみになるものを買わない・断る

- * 買い物ときはマイバックを持参し、レジ袋をもらわない
マイバック持参を習慣化しましょう
- * 過剰包装を断り、簡易包装に協力しましょう
- * 使い捨てフォークやストローの使用を控えましょう
- * 水筒携帯などによりペットボトル飲料の利用を控えましょう



次に 私たち 消費者（つかう側）が取り組める ごみ減量作戦を紹介します。

その 「ごみになるものを買わない・断る」 を徹底しましょう。

*過剰包装も断り簡易包装に協力しましょう。

*使い捨てフォークやストローの使用も控えましょう。

*水筒携帯などによりペットボトル飲料の利用を控えましょう。

私たちが、今日から取り組める ごみ減量作戦 (使い捨てプラの削減・廃プラの発生阻止)

ごみそのものを減らす

- * 必要なものは、**必要な量だけ**買うようにしましょう
- * 「**量り売り**」があれば利用しましょう
- * 「**詰め替え商品**」を利用しましょう



その ごみそのものを減らしましょう！

必要なものは、必要な量だけ買うようにしましょう。

「量り売り」があれば利用し、詰め替え商品も積極的に利用しましょう。

私たちが、今日から取り組める ゴミ減量作戦 (使い捨てプラの削減・廃プラの発生阻止)

まだ使えるものは、工夫して再度使う

* 修理して使えるものは、**繰り返し利用しましょう**

* フリーマーケットなどで、他の人に使ってもらおう



その 一度使用した製品をそのまま再利用しましょう。

フリーマーケットなど、他の人に使ってもらったり、修理して繰り返し利用しましょう。

私たちが、今日から取り組める ごみ減量作戦 (使い捨てプラの削減・廃プラの発生阻止)

ごみの分別・リサイクルの徹底

*再生利用できる資源は、きちんと分けて資源回収に出しましょう

*リサイクルされた製品を利用しましょう



その ごみの分別とリサイクルを徹底しましょう。

再生利用出来る資源は、きちんと分けて資源回収に出しましょう。

そして、リサイクルされた製品を利用しましょう。

私たちが、今日から取り組める **ごみ減量作戦** (使い捨てプラの削減・廃プラの発生阻止)

廃プラスチックを出さないために

* **ポイ捨て、不法投棄をやめましょう**

* 海岸や街で、出た廃プラの**除去・清掃**を行いましょう



ポイ捨て禁止



●ここにゴミを捨てないで
下さい。
●マナーを守り、美しい環境
をつくりましょう。

不法投棄禁止



ゴミのポイ捨ては
やめましょう!!
みんなの町をみんなで美しく

その 廃プラスチックを出さないために、ポイ捨て、不法投棄を止めましょう。

海岸や街中で、出た廃プラの除去・清掃に積極的に参加しましょう。



私たち「くにびきエコクラブ」も 現在大きな社会問題となっている海岸漂着ごみの現状を知ることと、海岸の環境保全を目的に、まつえ環境市民会議の呼び掛けに応じ、松江市鹿島町古浦海岸の漂着ごみの回収作業に参加しています。

「プラスチックによる環境汚染」をはじめ、地球環境を守るために 私たちに出来ることは小さなことかも知れませんが、それを皆で行うことによって、大きな力になると信じ、私たちのクラブも活動を続けていこうと思っています。

どうか皆様もそのように考え行動していただければうれしく思います。



美しい地球を 子や孫に

次は「エコクイズ」に挑戦！

最後までご覧いただきありがとうございました。

続いて、皆さんに「プラスチックごみについてのエコクイズ」に挑戦していただきます。



はい、それでは「エコクイズ」を始めます。

「プラスチックごみ問題について」の説明に 正しければ「YES」 誤りであれば「NO」で答えて下さい。